

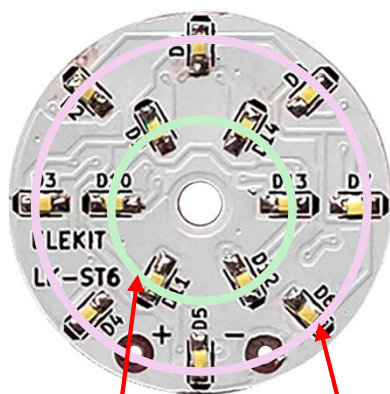
LK-ST6の内側と外側のLEDをそれぞれ制御する

内容をよく読み改造・拡張してください。

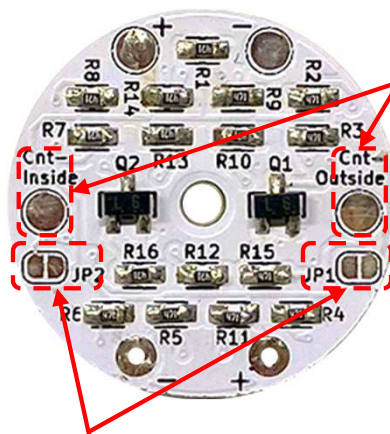
例1 LK-ST6にLK-ST4を接続する

●拡張用端子について

LK-ST6の基板裏側にあるJP1、JP2のパッドとパッドの間の配線を切って、拡張端子にLK-ST4やLK-ST7の制御信号を入力すれば、内側のLEDと外側のLEDをそれぞれ点滅制御できるようになります。



内側のLED 外側のLED



制御信号を
入力する端子

JP1、JP2 :
制御信号で点滅を制御する場合は
ジャンパーのパッド間を切る

- ①LK-ST6のジャンパー(JP1とJP2)を改造します。
パッドとパッドの間の基板上的配線をカッターで切ります。

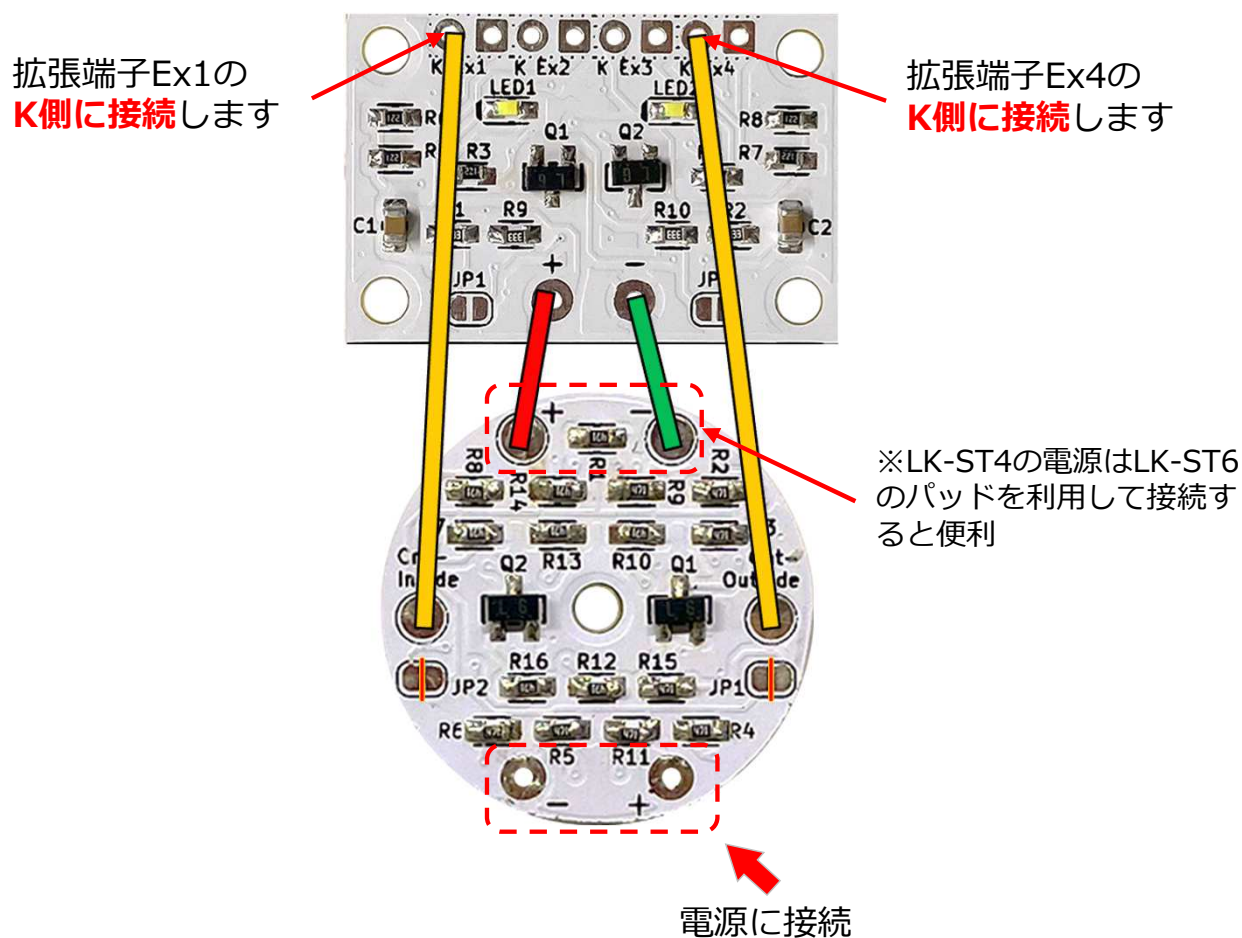


パッドとパッドの間に溝をつくるようなイメージでカッターの刃で深く切り込みます。



※ケガに注意
※関係ない場所の配線を切らないように注意

②LK-ST6とLK-ST4をビニール線で図のように配線します。



③電源をつなぐと、内側のLEDと外側のLEDが、LK-ST4の点滅タイミングと同じように点滅します。

※LK-ST4にLK-ST6をつないだ時はつないでいないときに比べて点滅の間隔が短くなります。これは回路の特性であり異常ではありません。

例2 LK-ST6にLK-ST7を接続する

- ①例1の①と同じようにジャンパー部分を改造します。
JP1とJP2のパッドとパッドの間の基板上の配線をカッターで切ります。



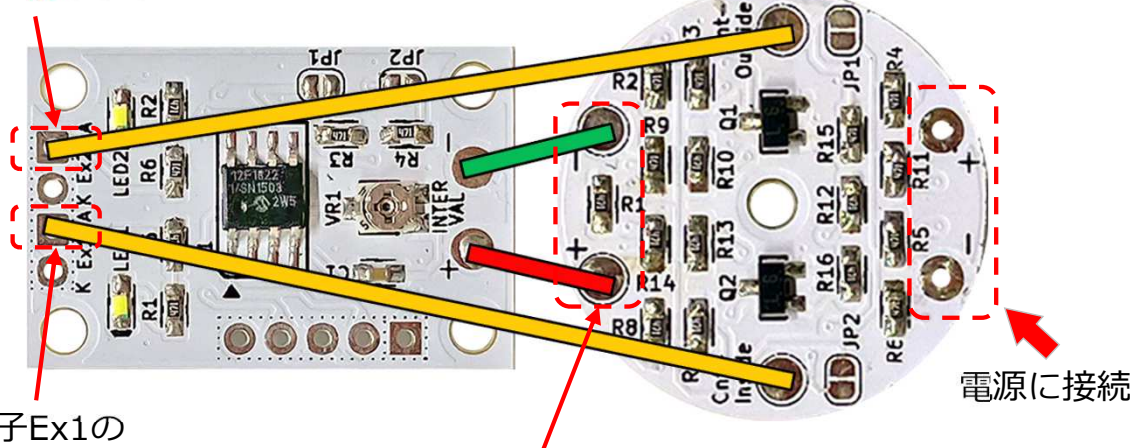
パッドとパッドの間に溝をつくるようなイメージでカッターの刃で深く切り込みます。



※ケガに注意
※関係ない場所の配線を切らないように注意

- ②LK-ST7とLK-ST5をビニールコードで図のように配線します。

拡張端子Ex2の
A側に接続します



拡張端子Ex1の
A側に接続します

※LK-ST7の電源はLK-ST6のパッド
を利用して接続すると便利

- ③電源をつなぐと、内側のLEDと外側のLEDが、LK-ST7の点滅タイミングと同じように点滅します。